

「つるさき七輪の街づくり」

大分市では、地域課題の解決や地域の活性化に資する事業を、市民と行政が協働で取り組む「地域まちづくり活性化事業」を実施しています。

鶴崎地区では、この事業を「つるさき七輪の街づくり」と命名し、推進委員会を中心に、各校区や鶴崎地区全体でさまざまな活動を展開しています。事業の実施にあたっては、自治会の回覧等を通じてお知らせしていますので、皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

※「つるさき七輪の街づくり」

七輪のように暖かく、そして懐かしく、7校区が大野川を囲んで語り合える地域となるようにとの思いを込めて命名しています。

令和7年度 主な取組状況

★全体事業★



鶴崎地区全体の事業として、「つるさき七輪ふれあいフェスタ」を2月14日に鶴崎公民館で開催し、約400名の参加がありました。本イベントは、地域住民の交流と健康促進を目的としており、健康推進コーナーや多彩な伝統・文化の発表、ステージショーなどが行われました。アンケート調査によると参加者の80%以上が満足と回答しており、地域の絆や健康意識の向上に寄与した、成功したイベントとなりました。今後も引き続き、交流と健康促進の場を提供していく予定です。

★鶴崎校区★



鶴崎校区では、1月に校区内の13自治会が合同で防災訓練を鶴崎公民館で開催しました。今回の訓練には、各地区の防災士を含む地域住民総勢210名が参加し、地域の防災意識の向上と連携の強化を目的としました。特に、防災アドバイザーの上山容江氏による「南海トラフ地震に備える」をテーマとした講演は、参加者から非常に好評を博し、地域の防災意識を高める貴重な機会となりました。

★三佐校区★



三佐校区では、2月に約90名の地域住民が参加した「防災・ふれあい歩こう会」を開催しました。公民館から三佐命山（津波避難場所）までの往復コースを歩き、災害時の非常食の体験や宝探し、防災見学、ジャンケン大会などを行いました。最後には参加者が作った簡易おにぎりとお食生活改善推進協議会の皆さんに作っていただいた豚汁を楽しみました。

★別保校区★



別保校区では、8月に「そうめん流し大会」を開催しました。同日に、校区青少年健全育成協議会が実施した「別保であいふれあい音楽祭」の後に、最近では珍しい竹を使った流しそうめんを行い、子どもも大人も夢中になって楽しみながら食べていました。また、2月には「餅つき大会」を開催しました。

★明治校区★



明治地区では、2月に「南部方面史跡めぐり歩こう会」を開催し、約50名の住民が参加しました。猪野八坂神社、水分神社、龍神池、おかばる花公園、横尾貝塚などの場所で地域の歴史を学び、各自治会の温かいおもてなしを受けました。また、8月の通学路清掃や、手話講演会、米作り体験など、地域の皆様の協力のもと様々な活動を行いました。

★高田校区★



高田校区では、12月に高田小学校の5年生が田植えと稲刈りを体験し、育てたもち米を使った餅つき体験を開催しました。親子で杵と臼を使った餅つきや試食（雑煮など）を楽しむ行事で、多くの家庭が参加されました。準備や運営はボランティアの皆さんの協力によるものであり、感謝の気持ちを忘れず、今後もできる限り続けていきます。

★松岡校区★



松岡校区では、11月に「第2回松岡ふれあいまつり」を開催しました。公民館では、エレキバンドによるのベンチャーズ曲の演奏や、公民館教室の発表（コーラスなど）、健康コーナーでの健康測定を行いました。また、松岡小学校ではフリーマーケットや各種食品・野菜・新米の販売、子どもコーナーでの遊び体験、大東中学校プラスバンド部の演奏、そして豪華賞品が当たる抽選会など、多彩な催しが行われ多くの参加者で賑わいました。

★川添校区★



川添校区では、地域の健康促進と交流を目的に、ふれあい講話、健康講話、健康体操で構成される出前健康講座を校区内15の自治会で開催しました。ふれあい講話では落語や音楽を通じて心の健康を、健康講話では医療専門家から健康管理や体の健康について学びました。健康体操では体操ボランティアの指導のもと体操を行い、心身の健康維持を図りました。また、6月と10月には川添歴史マップを使って、小学校児童を対象に歴史散策などの活動も実施しました。